

## 平成 29 年度 大阪府立高津高等学校 第 1 回学校協議会 記録

○日 時：平成 29 年 8 月 28 日（月）

○場 所：大阪府立高津高校 校長室

○出席者（敬称略、委員は 50 音順）

委 員 木山 千鶴（本校同窓会副会長）  
竹村 伍郎（地域情報誌「うえまち」編集局長）  
東郷 俊也（本校 P T A 会長）  
中川 哲也（高風クラブ副理事長）  
森田 英嗣（大阪教育大学大学院教授）

事務局 村田 徹（校長）、藤原 隆志（教頭）、石田 暁（事務長）、伊勢田佳典（首席）  
山口 優（首席）、菅 康之（企画広報部長）、尾崎知佐子（企画広報部・記録係）

### 1. 校長挨拶

### 2. 学校からの説明

#### （1）平成 29 年度「学校経営計画」の進捗状況について

昨年度第 3 回学校協議会で報告したように平成 28 年度の学校評価については、ほぼ目標を達成できた。平成 29 年度学校経営計画の進捗状況について、ポイントを絞って説明する。

#### ○中期的目標 1（1）（ア）魅力ある授業の実施

・授業のノウハウ・各教科の「Good Practice」を体系化し、「高津授業メソッド」を確立する。  
2020 年度に向けて大学入試も変わっていくことや、新学習指導要領も視野に入れたうえで、アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）と大学進学の高立をめざした授業を平成 31 年度までに完成させる。

#### ○中期的目標 2（2）生徒の規律・規範意識の向上

・「自由と創造」を校是とする本校だからこそ、生徒たちの高い規律・規範意識が大切である。  
一つの象徴として、ここ 3 年間は「遅刻者数 2,000 件を切る」という目標を立てている。7 月末現在、昨年度同時期と比べて約 200 件減となっており、良いペースである。例年と比べ、1 年生は極めて少なく、2 年生も少ない、残念ながら 3 年生は例年より多くなっている。

#### ○中期的目標 3（1）教科指導力の向上

・「生徒による授業アンケート」を、毎年 7 月と 12 月に行っている。この 7 月に実施したアンケート結果は 9 項目平均が 3.24 と、目標値の 3.2 をクリアした。生徒からの評価がすべてではないものの、全教員がますます高い評価を得られるよう、アンケート結果をもとに個人はもとより、教科として、さらなる改善に努めている。

#### ○今年度の重点目標

##### 1（2）（ア）国際交流の充実、交流先を増加

・GLHS に指定されている本校では、生徒たちが国際的な視野を持つこと、そして、将来的に、ますますグローバルに活躍することが求められている。SSH としての利点等を最大限

に生かしていく。本年度も、新たに台南第一高級中学との交流や、ニュージーランド短期留学を実施するが、一過性の取組みにとどまることなく、一層の充実・発展に努める。

## (2) 創立 100 周年事業について

○KOZU Creative Lab!等について（木山委員より説明）

- ・100周年は来年だが、その一年前に完成させ、活用した状態で100周年を迎えるという方針で企画を始めた。ラボ設立委員会を立ちあげ、大学のラーニング・コモンズを見学したり、同窓会総会では多くの同窓生に、また、体育祭では生徒たちにもワークシートの募集を行った。集まった約400枚のワークシートをもとに、具体的なレイアウトを決定し、8月21日にCreative Lab!が完成、学校に寄贈した。今後は、ラボ運営委員会が、運営・活用について考えていく。
- ・100周年の募金目標1億円（現在約8,300万円）のうち特定寄付の5,000万円でCreative Lab!と冷房設備のない教員準備室に空調を整備した。一般寄付で来年の式典を開催し、残りを教育支援基金にあてるという形で、恒常的に生徒をサポートしていけることができるような体制を作れればと考えている。

## (3) その他

- ・ここ3年間のGLHS評価審議会での本校の評価は、すべて「(上から2番めの)AA」。おかげさまで、Aの数では10校中3位（同率）という高い評価をいただいた。教職員がチームとして取り組むようになり、生徒たちも頑張った結果、進学実績もあがり、素直にうれしく感じている。

## 3. 質疑応答、及びご意見等

### (1) 「高津授業メソッド」について

- ・高津授業メソッドの最終形態は？ 保護者の方や生徒も見られるのか？  
⇒全教職員がしっかりと「幹」の部分共有できるように、誰が見ても理解できるようなペーパーにまとめる予定。  
対象については、まずは、教職員向けと考えている。すべての教職員が「チーム高津」の一員として「めざす目標」を共有できる「軸」をつくり、授業力のさらなる向上を図っていく。
- ・小・中学校で行われているカリキュラムマネジメントのように、みんなで共有できるものをつくりあげてもらいたい。
- ・ただ、マニュアル化すると、往々にして固定されてしまうという弊害を招いてしまうこともある。どんどんアップデートしてくべきだろう。
- ・英語を伸ばすには、国語力を伸ばすことが必要でもある。他教科、他学年で何をしているかわからないのは良くない。例えば、理科と家庭科に関連のあることを互いに理解しあって教える等、教科横断型の授業も視野に入れ、「チーム高津」として全教員が携わる必要がある。  
⇒生徒の資質・能力を最大限引き出せるよう、すべての教職員が学校全体としてベクトルを合わせて、組織的なカリキュラムマネジメントを進めていく。

## (2) 情報発信について

- ・学区撤廃の影響もあり、どんな生徒に来てもらいたいのか、きっちりと発信していくことが求められている。進学実績だけではない発信が必要だ。高津高校では、どのように対外発信を行っているのか？

⇒基本的には、7・10・11・12月に本校で行う学校説明会が中心である。それ以外にも中学校や市・区・PTA・塾等が主催する説明会において、ブース形式・プレゼン形式で説明を行っている。

⇒また、HPも間もなくリニューアルしたものをアップする予定。日本語だけでなく、英語、韓国語（ハングル）でも掲載している。「Creative Lab！」の映像もYou tubeにアップし、QRコードでも観られるようにした。

- ・記念祭などもQRコードやFacebookなどで発信できればよいが。

⇒同窓会のFacebookは可能。学校だけでは限界もあるので、同窓会やPTAの力を借りながら、本校のHP等とリンクさせるなど、いろいろなところへの働きかけを検討していきたい。

- ・HPやYOU TUBEなど、いろいろなツールがあるが、実際にはどのツールが一番見られているのか、人気や人数は追跡できるのか。追跡できるのであれば、それを分析して次の一手をどう打つかを考えることが必要である。
- ・バナー広告扱いをすると情報が得られる。ただしお金もかかり、誘導する工夫が必要である。QRコードは無料なので、当面はもっとも可能性が高いだろう。

## (3) その他

- ・学校説明会での高津のプレゼンで、1番PRしている点は何か。

⇒本校の説明を聴きに来ている方からは、「自由とお聞きしているのですが…」という声が多いが、それをアピールするよりも、勉強の厳しさ、進路学習をしっかりやっていることに重点を置くようにしている。

- ・子どもから話を聞き、先生方が実践していただいている取組みをありがたいと感じている。個々の先生の能力も大きいですが、次はいかにその素晴らしさをまとめあげるかが大事。
- ・「髪型・服装だけが自由であとは厳しい」現在と比べて、昔の卒業生は「サボっていることが高津の良さ」のように言う人もいるが、「やることはやらんとあかん」という、本来の「自由と創造」を伝えていくべき。今、自分は何をしなければならないのかを考えさせる指導が大切だ。

今後の日程（予定）

第2回 H29年12月下旬、

第3回 H30年3月下旬